

先進理学療法 の実践

ポリシーステートメント

© World Physiotherapy 2023
www.world.physio



推奨引用: World Physiotherapy. Policy statement: Advanced physiotherapy practice. London, UK: World Physiotherapy; 2023. Available from: <https://world.physio/policy/ps-advanced-pt-practice>

先進理学療法の実践

先進的な理学療法は、過去 10 年間で多くの国々で実践されるようになった。進化し続けるサービス形態や社会の要求にこたえるために理学療法が大きく発達し、先進的な実践が求められる機会が増えている(1-4)。

先進理学療法の実践 (APP) が、臨床的にも経済的にも効率的だというエビデンスが増えている。これは理想的な療法であり、患者や利用者にとってもより良い結果をもたらす(1, 5, 6)。APP はまだ世界的には知られていないが、世界理学療法連盟の加盟組織の大半は APP が有益で望ましい傾向だと考えている(7)。

APP が発達してきた理由はいくつかあるが、一つに、この専門分野が自然に進化していったということがある。APP の発達を促進させてきたものは、APP が医療サービスに必要なものだという認識、理学療法士からの支持(8)、医療専門職からのサポート、政治的支援、医療費返済モデルである(7)。

APP が整形外科や筋骨格系の分野でサービスとしてすでに確立している国もある。神経学、循環器内科、小児科、高齢者向けの理学療法、ウィメンズヘルス、骨盤リハビリテーションなどの分野でも APP は知られている。医療サービスの一部の特定の領域で限定的に導入されることもある(7)。

専門職にとって先進的な実践が具体的に何を意味するかという共通認識が欠けており、「専門化 (specialisation)」と混同されることがある(7)。必ずしも専門化が APP と同じ意味を持つとは限らない。先進的な実践者である理学療法士は通常スペシャリスト (specialists) だが、理学療法専門家が先進的な実践者とは限らない。つまり、以下に記している先進的な実践の要項を満たしていないこともあり、その条件が要求されないこともある。例えば、先進的な実践のいくつかの側面が、理学療法の実践に関する法律又は規制で許可されていないこともある。しかし、世界理学療法連盟のポリシーステートメントで定義づけられているとおり、専門化 (specialisation) は起こりうるし、実際に起こっている(9)。

職業の成熟度、理学療法士のエントリーレベル教育基準、職業の自主性、国内の規制などを含む実践内容こそが、APP の発達の要である。世界理学療法連盟の加盟組織は、APP をあらゆる言葉を用いて表現している(10, 11)。具体的な内容は専門によって異なるが、共通点に基づいて以下のような表現が使われている：

先進理学療法の実践とは：

- より先進的な実践、役割、責任、活動、能力を含む。
- 特定の職種の肩書と共に併用されることがある(1)。
- 先進的かつ明確な臨床および分析スキル、知識、臨床推論、態度および経験の組合せを必要とする。
- サービスの改善に影響を与え、患者のアウトカムと経験の改善を達成するために、臨床的リーダーシップを提供するだけでなく、高度なレベルのスキルと知識を適用する。
- 複雑なニーズや問題を抱えた一般的な患者／利用者に対して、安全かつ有能にケアを提供し、リスクを管理する責任を負う(1) (10, 11)。
- 先進的な実践は、少数ではあるが徐々に増えつつある一部の実践者が行っている。先進理学療法の実践者は、同僚の理学療法士や患者や他の医療従事者から専門家として認められている。その認定方法は法域によって異なる。

先進的な実践に含まれる注射技術、画像診断のオーダー、薬の処方などは、以前は他の専門家が扱う分野であった可能性があり、理学療法士にその権限を与えるには、法律や規制を変える必要がある場合がある。

先進的な実践には、専門的な教育や訓練、多くの実践の積み重ね、能力開発が必要となる。このサービスを提供するためには、他の医療従事者たちとの協力、研究、知見の解釈と伝達、リーダーシップなどの能力を要する。

現在、世界共通の決められた教育進路は存在しない。また、先進理学療法の実践者に求められる能力基準も世界的に合意された定義も存在しない。世界理学療法連盟は、このコンピテンシーに関する一貫した説明とガイドラインの開発を通じて、先進理学療法の実践の開発を調和、調整し、また開発内容について世界中へ共有することを望んでいる。

世界理学療法連盟は、先進的な理学療法が一般市民や医療サービス、その業界にとって有益だと考えられる場合、加盟組織が、先進理学療法の実践を許可する国家政策を策定する権利を持つことを支援する。

世界理学療法連盟は、加盟組織が各所管で、先進理学療法の実践の開発を促すため、以下の活動を推進すべきであると考えている：

- 社会やサービスのニーズに見合う臨床的および費用対効果の高いソリューションを提供できるかを判断するために、そのような役割を開発するニーズを評価すること。
- 理学療法における先進的実践の役割は、現代の医療問題に対して積極的な貢献と解決策を提供するものであることを認識すること。
- 先進的な実践が、医療システムで唯一無二の特権的な役割を担い、大きな責任が伴うことを認識し、この実践に伴う能力は、専門職によって明確に定義づけられるべきである。
- 適切な教育の枠組みと学習機会を提供する。
- 適切なキャリアパスを明記する。
- 重要な関係者（その他の医療専門職、サービス提供者）との関与を支持する。

用語集 <https://world.physio/resources/glossary>

Scope of practice (実践範囲)

Specialisation (専門化)

Approval, review and related policy information	
Date adopted:	First approved at the 19th General Meeting of WCPT May 2019 Reviewed and re-approved at the 20th General Meeting of WCPT May 2023
Date for review:	2027
Related World Physiotherapy policies:	World Physiotherapy policy statements <ul style="list-style-type: none">• Physiotherapy practice specialisation

References

1. Desmeules F, Roy J-S, MacDermid JC, Champagne F, Hinse O, Woodhouse LJ. Advanced practice physiotherapy in patients with musculoskeletal disorders: a systematic review. *BMC Musculoskeletal Disorders*. 2012;13:107-28.
2. E. K, Sheppard L. The 'lone ranger': A descriptive study of physiotherapy practice in Australian emergency departments. *Physiotherapy*. 2010;96(3):248-56.
3. Kersten P, McPherson K, Lattimer V, Geirge S, Breton A, Ellis B. Physiotherapy extended scope of practice – who is doing what and why? *Physiotherapy*. 2007;93(4):235-42.
4. McPherson K, Kersten P, George S, Lattimer V, Breton A, Ellis B, et al. A systematic review of evidence about extended roles for allied health professionals. *Journal of health services research & policy*. 2006;11(4):240-7.
5. Fennelly O, Blake C, Fitzgerald O, Breen R, Ashton J, Brennan A, et al. Advanced Practice Physiotherapy Progressing Integrated Care of Musculoskeletal Disorders in Ireland: a National Evaluation. *International Journal of Integrated Care*. 2017;17(5):A119.
6. Warmington K, Kennedy CA, Landon K, Soever LJ, Brooks SC, Passalent LA, et al. The patient perspective: arthritis care provided by Advanced Clinician Practitioner in Arthritis Care program-trained clinicians. *Open access rheumatology : research and reviews*. 2015;7:45-53.
7. World Confederation for Physical Therapy. *Advanced practice: Results of survey of WCPT member organisations*. London, UK: WCPT; 2018.
8. Gamlin J, Raymer ME, J L. *Advanced Roles in Musculoskeletal Physiotherapy*. In: Jull, et al, editors. *Grievess' Modern Musculoskeletal Physiotherapy*. 4th ed. In: Jull G, Moore A, Falla D, Lewis J, McCarthy C, Sterling M, editors. *Grievess' Modern Musculoskeletal Physiotherapy 4th Edition*. London, UK: Elsevier; 2015.
9. World Physiotherapy. Policy statement: Physiotherapist practice specialisation. London, UK: World Physiotherapy; 2023 [24 Nov 2023]. Available from: <https://world.physio/policy/ps-specialisation>.
10. Chartered Society of Physiotherapy. *Advanced practice in physiotherapy. Understanding the contribution of advanced practice in physiotherapy to transforming lives, maximising independence and empowering populations*. London, UK: CSP; 2016 [27 Nov 2023]. Available from: https://www.csp.org.uk/system/files/csp_advanced_practice_physiotherapy_2016_2.pdf.
11. Australian Physiotherapy Association. *APA Scope of practice*. Hawthorn, Australia: APA; 2017 [27 Nov 2023]. Available from: <https://australian.physio/tools/clinical-practice/scope-practice>.

© World Physiotherapy 2023